

大阪・岬町を訪問

民生委員児童委員の県外研修が5月に行われ、大阪府岬町の民生委員児童委員協議会を訪問した。岬町の民生委員児童委員は以前に東員町を訪れて親交があったこともあり懐かしい人たちと再会することができました。

研修会は岬町の田代堯町長から歓迎の言葉があり、続いて岬町の民生委員児童委員がスライドを使って活動を紹介しました。

その後、全員が9グループに分かれて日々の活動や、問題点などを熱心に話し合いました。以下に参加者の感想文を掲載します。



サロンやカフェは…

グループに分かれての意見交換会では、活動の様子を出し合い、岬町と東員町の違いに驚きました。

サロンやカフェは、東員町より岬町の方が活発で、人間関係が苦手な人や障がいのある人も参加して楽しくなる活動をしていました。

(O)

時のたつのを忘れるほど…

東員町、岬町民生委員児童委員交流研修会が5月25日(木)岬町淡輪海浜会館で開かれ、約90名が参加しました。

研修会では、まず岬町の代表3地区が地域福祉活動を発表しました。発表では、「だれもが安心して暮らせるまちづくり」をめざし、子どもからお年寄りまで住民一人ひとりに寄り添って生きる活動を中心に話されました。

その後、9グループに分かれ日頃の活動内容の意見交換をしました。どのグループも熱心に話が飛び交い、時のたつのを忘れるほど有意義な交流会でした。

(T)

小学校の応援団

岬町では民生委員児童委員が小学校と深くつながり、学校の応援団としてなくてはならない存在になっているのがわかりました。

岬町には、東員町の瀬古泉カフェのような地域のサロンやカフェが、いたる所にあるのに驚きました。

岬町の人たちから見ると東員町が町からの依頼で高齢者調査を行っていることや、ひとり暮らしの高齢者の見守りをしていることが素晴らしいと評価をされていました。

また、岬町は民児協全体の会議は少なく地区ごとの活動に任されていることや活動の内容もボランティア活動なのか、民児協の活動なのか曖昧なこともあることが出されました。

(M)

民生児童委員だより



民生委員制度は
平成29年に100周年です

きずな
絆

第14号

2017年10月20日発行
東員町民生委員児童委員協議会
広報委員会
事務局 東員町社会福祉協議会内
TEL 0594-76-1560
<http://www.toinshakyo.or.jp/>

民生委員制度創設100周年記念 三重県大会開かれる



民生委員制度創設100周年を記念した三重県大会が9月12日に県総合文化センターの大ホールで開かれました。

大会には「支えあう 住みよい社会 地域から」をスローガンに県下各市町から4,100余人を代表した約1,000人の民生委員児童委員が一堂に。東員町からは24人が参加しました。

大会の冒頭、物故者追悼の儀が行われ、1分間

の黙とうを行った後、「民生委員児童委員信条」を全員が唱え、引き締まった大会となりました。また、歴代の会長に感謝状が贈られるセレモニーなどが行われた後、「民生委員制度100周年の歴史とこれから」と題した立正大学・蟻塚昌克教授の講演もありました。最後に「民生委員の歌」のコーラスなどがアトラクションとして披露され、約3時間半にわたる大会を閉じました。

100周年によせて

東員町民生委員児童委員協議会

会長 小川 隆生



平素は民生委員児童委員の活動に対しご支援とご協力をいただき誠にありがとうございます。

民生委員制度は大正6年(1917年)に創設された岡山県の済世顧問制度が始まりで本年、創設100周年を迎えました。三重県ではその6年後に当たる1923年に県方面委員として設立されました。

私たち民生・児童委員は、これまで基本的人権の尊重と社会奉仕の精神などを基に、住民に寄り添い、継続的に支えることを念頭に、お互いが安心して暮らせる社会づくりに貢献してまいりました。

これからも大きな役割を果たされた諸先輩方の活動に敬意を表すとともに民生委員児童委員活動の重要性を再認識することで、さらに社会的理解を深め活動にまい進する所存でございます。今後も皆様のご支援と、ご協力をよろしくお願い致します。

高齢者交流会でお世話を

町内に住む65歳以上の方を対象にした高齢者交流会が7月3日、保健福祉センター大ホールで開かれ、民生委員児童委員も会の運営を手伝いました。

交流会は午前10時から始まり高齢者向けの太極拳や、バンド演奏を楽しみ、参加者はテーブルを囲んでグループごとに昼食をとり午後2時過ぎまで楽しいひと時を過ごしました。民生委員は会場設営や食事の準備などに精を出しました。



稲部・三和地区が遊具点検



稲部・三和地区では8月22日に中部公園や町民プール内の遊具の点検を行いました。

参加したのは11人。

猛暑の中、滑り台の手すり部分がさびていないかなどを点検した後、危険だと思われる箇所を町に報告しました。

神田地区意見交換会を開催

3月14日、ふれあいセンター2階研修室で、神田地区自治会長と民生委員児童委員との意見交換会が行われました。

これは、民生委員児童委員の活動内容を自治会長に知っていただくとともに、地区の実情を聞かせていただくことでお互いの活動に役立たいとの思いから自治会長に依頼して実現したものです。

最初に、委員から地域見守り活動での悩みや

疑問など、日々の活動での思いを聞いていただきました。

和やかな中で意見交換を行い、自治会長から問題点や悩みをひとりで抱え込まず些細なことでも相談してほしいとの言葉をいただきました。

この日は、地域の人々の困りごとを自治会と民生委員児童委員が共に考えていくことを確認させていただき心強く感じました。

活動をPR



民生委員児童委員の100周年を記念したPR活動が、5月12日に町内のショッピングセンターやスーパーで行われ、ポケットティッシュを配って来店者に活動内容を知ってもらいました。

障がい児と交流

東員町障がい児を守る会の夏休みの行事が3回行われました。

そのうちの8月17日は木曾三川公園に行き、民生委員は子どもたちと水遊びをしたあと昼には神田小学校で、私たちの作ったカレーを一緒に食べました。



中学校を訪問

新学期が始まった4月、児童福祉部会の部員が、町内の中学校を訪れ、授業を参観しました。

15人の部員は第一、第二両中学校へ二手に分かれ、PTAの人たちと一緒に午前中、全クラスの子どもの授業ぶりを観て回りました。

この取り組みは、学校での子どもたちの生活を知ることで、これからの活動に生かすことが

できるのではないかとこの思いから計画されました。

参加した部員からは「子どもたちの学校生活ぶりが手に取るように分かり参考になった。こういった機会を多く持ったほうが良い」などの意見が出されました。